

令和5年度 第1回

山根市民センター運営審議会

日時 令和5年6月27日(火)

午前10時～

場所 山根市民センター集会室

次 第

1 開 会

2 会長選任, 挨拶

3 議 事

- (1) 令和4年度山根市民センター事業報告について
- (2) 令和4年度山根市民センター利用状況について
- (3) 令和5年度山根市民センター運営方針及び重点目標について
- (4) 令和5年度山根市民センター定期講座募集状況について
- (5) その他

5 閉 会

水戸市山根市民センター運営審議会委員

任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日

	ふりがな	選出区分	団体等名及び役職名	備考
	委員の氏名			
1	そのべ じゅん 園部 順	市民活動団体	山根自治連合会会長	新
2	おおつ さとこ 大津 里子	市民活動団体	水戸市社会福祉協議会山根支部長 民生委員	
3	そのべ とよこ 園部 豊子	社会教育関係者	保健推進委員	
4	ひらさわ ゆりこ 平澤 百合子	市民活動団体	水戸市社会福祉協議会山根支部会計 民生委員	
5	きくち きよし 菊池 清志	市民活動団体	山根自治連合会福祉厚生部長	
6	いな のべ ひでひさ 稲野辺 秀久	学校教育関係者	双葉台中学校長	

(1) 令和4年度山根市民センター事業報告について

① 市民センター事業

事業名	開催日	参加人数	R3年度 開催日	備考
夏休み子ども絵画教室	4.8.4	5名	3.8.4	低学年1名, 高学年4名 元小学校教師 別所 恵子先生
定期講座(学習発表)	4.9.18	62名	中止	「銭太鼓・太極拳」 ※福寿のつどいアトラクションとして
山根寿学級①	4.10.4	8名	4.1.18	「スポーツ吹矢」 永盛 恵先生
山根寿学級②	4.10.20	11名	中止	「はじめてのスマホ体験」 スマートフォンアドバイザー
女性教養講座①	4.11.16	6名	3.12.2	「絵てがみ体験」 鯨 和子先生
家庭教育強化事業 (子育て広場同時開催)	4.12.7	9名	中止	「クリスマスコンサート」 みとびよ音楽隊
女性教養講座②	5.1.24	5名	中止	「パッチワーク体験」 田崎 加津子先生
定期講座(作品展示)	5.2.6~ 5.2.26	—	4.3.2~ 4.3.19	5.2.2~26 絵てがみ 5.2.4~26 パッチワーク

② 移動学習

事業名	開催日	参加人数	R3年度 開催日	行き先
移動学習(市バス)	4.7.14	19名	中止	「茨城県フラワーパーク ・ポケットファームどきどき見学」
合同研修会(福祉バス)	4.11.17	23名	3.11.25	「大杉神社・牛久シャトー ・筑波ハム見学」

③ 三世代ふれあい事業

事業名	開催日	参加人数	R3年度 開催日	備考
三世代ふれあい 奉仕作業①	4.6.11	14名	3.6.12	
三世代ふれあい 太鼓体験とお楽しみ会	4.8.27	35名	—	R4新規事業
三世代ふれあい 奉仕作業②	4.10.8	13名	3.10.2	
三世代ふれあい グラウンドゴルフ大会	5.2.26	60名	中止	

④ 山根自治連合会事業

事業名	開催日	参加人数	R3年度開催日	備考
山根自治連合会役員会 他	4. 4. 15他5回	延べ82名	3. 4. 16他5回	
山根自治連合会総会	書面審議	—	書面審議	自治会・関連会の長及び代議員 59名
西部ブロック球技大会 (ソフトボールの部)	4. 5. 15	5チーム	中止	谷津ファイターズ出場
花苗配布	4. 5. 25	7花壇	3. 5. 26	ペコニア
花苗配布	4. 6. 13	7花壇	3. 6. 22	サルビア・マリーゴールド
花壇コンクール	4. 6. 27	3花壇	3. 7. 13	審査員 4名, 最優秀賞 全限2・3区
ヘルシークッキング	中止	—	中止	
山根地区お父さんソフトボール大会	中止	—	中止	
三世代ふれあい 太鼓体験とお楽しみ会	4. 8. 27	35名	—	R4から実施
花火大会	4. 8. 27	120名	3. 8. 21	
市お父さんソフトボール大会	4. 9. 10	13チーム	中止	谷津ファイターズ出場
山根地区福寿のつどい	4. 9. 18	21名	中止	「敬老会」から名称・対象者変更 (R4～)
山根地区防災訓練	4. 10. 6	20名	中止	応急給水用タンク設営・避難所設営 ・防災倉庫装備品確認
山根地区市民運動会	中止	—	中止	
第48回山根地区ゴルフ大会	4. 10. 28	15名	中止	水戸・ゴルフ・クラブ
山根地区市民歩く会	中止	—	中止	
地域学校協働活動 「きれいなまちづくり運動」	4. 11. 21	10名	—	R4. 7から地域学校協働活動 「あいさつ運動」を実施
西部ブロック球技大会 (ソフトボールの部)	4. 11. 27	5チーム	中止	山根地区出場チームなし
福寿そば出前サービス	4. 12. 9	64名	中止	対象者 ～75歳以上寝たきりと一人暮らし・85歳 以上
三世代ふれあい グラウンドゴルフ大会	5. 2. 26	60名	中止	
花苗配布	5. 3. 9	7花壇	4. 3. 9	パンジー

(2) 令和4年度山根市民センター利用状況報告について

① 施設利用状況

団体別

	市民センター		社会教育団体		市・県関係		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4年度	150	1,521	35	429	28	524	491	4,392	704	6,866
3年度	144	1,336	23	257	22	532	424	3,987	613	6,112
2年度	135	1,208	17	183	15	360	330	3,387	497	5,138
元年度	186	2,015	33	576	20	652	404	5,067	643	8,310
30年度	231	2,615	29	545	21	630	575	7,043	856	10,833
29年度	231	2,719	25	477	25	650	608	7,518	889	11,364
28年度	192	2,406	46	835	40	852	554	7,449	832	11,542

部屋別

	ホール		集会室		和室		調理室		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4年度	536	5,335	125	1,248	43	283	0	0	704	6,866
3年度	454	4,825	104	954	55	333	0	0	613	6,112
2年度	355	4,000	106	878	35	252	1	8	497	5,138
元年度	495	6,865	106	992	32	279	10	174	643	8,310
30年度	658	8,941	143	1,379	40	286	15	227	856	10,833
29年度	654	9,368	169	1,457	54	356	12	183	889	11,364
28年度	579	9,379	183	1,649	59	379	11	135	832	11,542

② 窓口利用状況

(単位：件)

	証明書発行				納税等	合計
	印鑑証明	住民票	戸籍	その他		
4年度	89	77	77	94	116	453
3年度	97	99	83	82	101	462
2年度	94	117	68	121	131	531
元年度	148	120	51	124	110	553
30年度	135	127	85	117	106	570
29年度	148	133	79	137	135	632
28年度	136	133	69	197	138	673

(3) 令和5年度山根市民センター運営方針及び重点目標について

※ 昨年度との変更点

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、感染症対策と地域活動の再開を図りながら、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

- ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。
- イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。
- ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。
- エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・デバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発

表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(4) 令和5年度山根市民センター定期講座募集状況について

教室

教室名	講師名	開催日	定員	入会者	備考
やさしい太極拳	富田 美恵子 先生	毎月 第2・4(火)	10名	7名	新
絵てがみ	鯨 和子 先生	毎月 第1・3(水)	12名	6名	+1
セラピー体操	吉村 美智代 先生	毎月 第1・3(木)	15名	5名	
銭太鼓	鈴木 幸枝 先生	毎月 第1・3(金)	10名	7名	+1

クラブ

クラブ名	講師名	開催日	定員	入会者	備考
ヨガA (月曜コース)	井口 裕美 先生	毎月 第1・3(月)	18名	18名	+1
ヨガB (金曜コース)	井口 裕美 先生	毎月 第2・4(金)	16名	16名	
パッチワーク	田崎 加津子 先生	毎月 第1・3(土)	12名	10名	+1